

# 健康の ススメ

今回のドクター

医学博士  
古嶋 博司



テーマ

## アナフィラキシーってなあに？ (夏のレジャーに潜む危険？)

これから夏に向けて、山や海へレジャーの計画を立てている方もたくさんいるでしょう。そんな計画に水を差すわけではありませんが、最近、登山での蜂刺されや、海水浴でのクラゲやオニヒトデなどによる「アナフィラキシー」という話を聞いたことはありませんか？今回はアナフィラキシーについてお話しします。

私たちの体には、ウイルスや細菌などの異物が入ってきたときに、これら外敵をやっつけようとする「免疫」という仕組みが備わっています。ところが、私たちの体に害を与えない物質に対しても過剰に反応してしまうことを「アレルギー」といいます。アナフィラキシーとはそのアレルギーが短時間に、しかも全身の症状（皮膚、粘膜、呼吸器、消化器、循環器など）として現れることをいいます。重症になると血圧の低下や意識障害などを引き起こし、場合によっては生命を脅かす危険な状態になることもあります。この生命に危険な状態をアナフィラキシーショックといいます。

原因物質（アレルゲン）は蜂毒などの生物毒や、食物、薬剤などさまざまな物があります。アナフィラキシーの予防は「アレルゲンに近づかない、口にしない」ことが一番ですが、運悪くアナフィラキシーが現れた場合は、ショック状態になる可能性もあるため、すみやかに医療機関を受診しましょう。以前にアナフィラキシーが現れたことがある人には、速効性があり効果も高いアドレナリン筋肉注射(商品名:エピベン®)を携帯するのもいいでしょう。\*医療機関での処方が必要です

これからのレジャーシーズン本番を迎える前に、自分にどんなアレルギーがあるのか一度検査してみるのもいいかもしれません。

### 内科・循環器内科 ふるしまクリニック



診療科目/内科・循環器内科  
診療時間/月・火・木・金曜日 9:00~12:30、15:00~18:00  
水・土曜日 9:00~12:30  
休診日/日曜、祝日  
所在地/中央区姥ヶ山5-6-20  
電話/025-257-7070

[ふるしまクリニック](#) [検索](#)